

●文注御の節は婦人と子供を見たる旨記附を乞ふ

教育家の必讀書



▲ 輓近の新好著 ▼

醫學博士

瀬川昌耆先生校閱

福岡縣師範學校主事

織田勝馬先生

長崎縣立高等女學校教諭

白土千秋先生

合著



洋裝菊絹形全一冊

正價金六十錢
郵稅金六錢

近時教育に關する諸般の研究殆んど至らざるなし然るに獨り劣等生に關する根本的研究と之が救濟法なる實濟的攻究とに關し曾て好著の公にせられたるものあるを見ず而も該問題に對する現今實地教育家の態度は宛も大旱に雲霓を望むが如きものあり蓋本書は時運の產出物を見る可きものなり乞ふ左の條記に依て本書の價值の一斑を推知せられよ

△本書は先づ劣等生の意義を確定し之が救濟上の教育的可能を論せり

△本書は劣等生に關する各種の原因を詳に探究し之に對する教育的取扱法を極めて實際的に説述せり

△本書は劣等生救濟に關する教育的任務と醫治的任務との區別を明かにせり

△本書は劣等生救濟法としての人格變換論を説述したり

△本書は劣等生取扱法に關する諸方案并に特殊教授法及各教科目につき教授上の實驗的注意を詳述せり

發兌道弘館 地番二町樂猿田神東京

御文の節人婦は(供と子見たる旨附記を乞ふ)

好評日々たる遊戯書

廣島高等師範學校教師吉田信太先生作曲
廣島高等師範學校教師原藤藏先生作技

(好評七版發賣)
○近刊本書類似の者刊行
有之購求者は著者名と發行
行者名の注意を乞ふ
清混する勿れ

國定唱歌遊戲教授書

洋装刷版
無類の美本

尋常科の部 全一冊 正價金八拾錢 郵稅拾錢 高等科の部 全一冊 正價金八拾錢 郵稅拾錢

▲讀め 唱歌遊戲教授に新光明を發はさく
▲讀め 訓育上、體育上、効果を顯する教育家は
▲讀め 戰後於勇健の國民を養成せんとする教育家は

尋常科第五版第六版購求者に票告す

曩に發行せし第五版第六版は弊館印刷所三協合資會社に印刷せしめ既に賣
切の處其后該兩版の内間々間違あるを發見致候に付右訂正之爲先般來著
者に乞ふて精密なる修正を遂げ今般修正第七版を發行仕候に就て
は右第五版第六版御購求せられし方は御郵送被下候はば早速御取替

行所 所地番二町樂猿區田神京東
館道弘

●文注御節の見を(供子と人婦)は乞を旨るたる

大好評噴々の新刊書

○文學博士 姉崎正治先生著 文學士 北澤定吉先生著 洋裝四六判形美本 全一冊價一圓	○國運と信仰 文學士 北澤定吉先生著 洋裝四六判形美本 正價九十九錢	○哲學史綱 文學士 北澤定吉先生著 洋裝菊判形全二冊 郵稅十錢
○伊藤銀月君著 文學士 北澤定吉先生著 洋裝菊判形全一冊 郵稅八錢	○日本教育の將來 男爵金子堅太郎先生著 正價金七十錢 洋裝菊判形全一冊 郵稅八錢	○予の半面 賜天覽 菊判形全一冊 正價金七十錢 洋裝菊判形全一冊 郵稅八錢
○伊藤眞一郎先生著 正價廿五錢 菊判形全一冊 郵稅四十錢	○農業振興策 農學博士 横井時敬先生著 正價金三十錢 洋裝菊判形全一冊 郵稅四錢	○長壽論 白千秋先生著 正價廿五錢 菊判形全一冊 郵稅四錢
○農業振興策 農學博士 横井時敬先生著 正價金三十錢 洋裝菊判形全一冊 郵稅四錢	○心靈學綱要 文學博士 元白勇次郎先生著 正價金三十八錢 洋裝菊判形全一冊 郵稅四錢	○養蠶教授指針 伊藤眞一郎先生著 正價廿五錢 菊判形全一冊 郵稅四錢

○農科大學助手山崎德吉先生共著 菊判形全一冊 個插入 價正二十五錢	○心靈學綱要 文學博士 元白勇次郎先生著 正價金三十八錢 洋裝菊判形全一冊 郵稅四錢	○養蠶教授指針 伊藤眞一郎先生著 正價廿五錢 菊判形全一冊 郵稅四錢
○心靈學綱要 文學博士 元白勇次郎先生著 正價金三十八錢 洋裝菊判形全一冊 郵稅四錢	○農業振興策 農學博士 横井時敬先生著 正價金三十錢 洋裝菊判形全一冊 郵稅四錢	○長壽論 白千秋先生著 正價廿五錢 菊判形全一冊 郵稅四錢
○心靈學綱要 文學博士 元白勇次郎先生著 正價金三十八錢 洋裝菊判形全一冊 郵稅四錢	○農業振興策 農學博士 横井時敬先生著 正價金三十錢 洋裝菊判形全一冊 郵稅四錢	○養蠶教授指針 伊藤眞一郎先生著 正價廿五錢 菊判形全一冊 郵稅四錢
○心靈學綱要 文學博士 元白勇次郎先生著 正價金三十八錢 洋裝菊判形全一冊 郵稅四錢	○農業振興策 農學博士 横井時敬先生著 正價金三十錢 洋裝菊判形全一冊 郵稅四錢	○長壽論 白千秋先生著 正價廿五錢 菊判形全一冊 郵稅四錢

發行所 所在地 東京神田樂猿區二町番地

弘道館

御文注の節と人婦は、旨るた見を(供)子と

小兒科専門 小原 賴之 先生校閲 女子高等師範學校教授 東基吉先生編著

(舶來上等紙摺)
定價四十錢(總クロス) (全一冊)
特製五十錢(脊皮洋裝) (全一冊)
郵稅各八錢

新案育児日記

○子ある家庭には必備の寶典

本書は東先生が從來我國に完全なる育児日記のなきがために世の父母が鬼角子供の日記を記し行くを怠りながらされたるものにして、記入の方法の簡便なるが附錄兒童身體發育表、小兒の脈搏、體溫、齒牙、睡眠、の主成分一覽表等に至りては小兒科専門小原先生の指示と校閲とに由來實驗的育児法として又從來の如きも至れり盡せりといふべし。本書は最も適切文明的なる。

注意! 本書の定價は殆んど白紙の代價に等し。白紙の代價を以てして有益無比の本書は購求せらるべきなり

弘道館

東京市神田區猿樂町二番地

●ふ乞を記附御旨るた見を(供子と人婦)は節の文注御●

序 生先下圓上井生先子歌田下編 生先郎次哲上井士博學文
院 博學文學 長部學女 生先郎次勇良元士博學文

山西治懇先生

畫捕繪口版色三の鑄園庭家の伯畫折不村中
摺紙等上來舶貢餘十六百七數紙本美る頗入國裝洋形判六四
錢五十稅郵 錢拾九價特限部萬壹
す復に錢十三圓一價正然斷は後數滿

家庭代末の寶典視する勿れ

者にて最順庭の顧問

法規家庭制度

禮交道

式際家庭衛德宗

具生行經教

理事濟裁

汚點洗濯縫

拔生養園

花畜藝茶

遊音樂道

交工藝通品

育

般の家庭に獻じ進物殊に結婚出産の贈物として薦

め又教育に熱心なる各學校教育家及び學生諸君の備品として推す

幸に此の好書を逸せず購讀の榮を賜はんことを

本書下題に類似の三編者

者西山治發行所

弘道館

家庭問題は今に殘されたる社會問題として又戰後必
づる家庭向の著書敢て妙きにあらず尠からずと雖も惜れ
むべし一時的際物の零片を充たさる即ち編者此に周到
用意多大の苦心抱負を以て本書を編纂せられたれば
家庭は此れに依て光明に浴し新しき福音に接するもの
かならざるを信す幸に世の流行的一夜作の駄編と同一
本書の内容は

日本家庭詳書

地番二町樂猿區田神京東 所行發